



新博物館の名称が「能美ふるさとミュージアム」に決定しました



名称が決定した新博物館の外観

新博物館の正式名称が「能美ふるさとミュージアム」に決定しました。5月15日、新能美市立博物館（仮称）建設準備委員会の松村芳明委員長より市長へ答申があり、「親しみやすい響きで、ふるさと愛を育む博物館にふさわしい名称」と選定理由をあげました。答申を受け、第2回議会定例会で正式に決定しました。

また、館長に元寺井小学校校長の外山ひとみさんが就任することとなり、「名称は『のみふる』の略称が想起でき、能美へのふるさと愛あふれる、何度でも訪れたくなるミュージアムを目指したい」と抱負を語られました。

▶ 開館日も決定！

『のみふる』は、能美古墳群の国史跡指定日である10月17日にいよいよ開館を迎えます。1月に建物が出来上がり、完成に向けて、現在内部の展示工事を進めています。開館イベントとして、毎年秋に行っている「古墳まつり」を同時に開催する予定です。

新博物館名称 能美ふるさとミュージアム	開館日 10月17日(土) <small>※新型コロナウイルス感染状況を考慮し延期する場合があります</small>
-------------------------------	---

九谷焼関連施設も新名称に

市誕生15周年を記念し、交流人口の拡大と九谷焼の魅力をより分かりやすく伝えるため、九谷焼関連施設の名称を変更します。「能美市九谷焼美術館」を4施設の統合名称とし、単館ごとの名称は以下のとおりとなりました。

新名称へは8月に改称予定です。

—改称記念イベント—
九谷焼作家からアドバイスを
受けて絵付け体験ができるイ
ベントを実施します。
詳しくは、市ホームページへ！

▶ 九谷焼関連施設の新名称（8月改称予定）



オープナーデータ表彰 最優秀賞受賞を報告

㈱ヨシタデザインプラ
ンニングと、㈱マシロ、
アイパブリッシング㈱の
代表3者が5月29日、市
役所を訪れ、3社で連携
して開発した「九谷焼
絵皿」が「2019年度
オープナーデータ勝手表彰
(一般社団法人オープ
&ビッグデータ活用・地
方創生推進機構)」で最

優秀賞を受賞した報告を
行いました。
「九谷焼絵皿」はオー
プナーデータ化されている
九谷焼の名作を紙皿に印
刷し、幅広い世代に九谷
焼を身近に感じてもらう
ことを目的に開発されま
した。「九谷焼絵皿」は
能美市九谷焼資料館など
で購入できます。



市役所へ受賞報告に訪れた3社
の代表の皆さんと中矢九谷焼資
料館館長(右)

推進委員が懸垂幕を掲げてPR 男女共同参画週間

6月9日、能美市男女
共同参画推進委員会は、
「男女共同参画週間（6
月23日～29日）」に合わ
せ、懸垂幕を市役所本庁
舎、根上総合文化会館、
寺井体育館と合わせて市
内3か所に設置しまし
た。

さんは「誰もが輝ける社
会になるよう、これから
も取り組んでいきたい」
と、意気込みを述べまし

た。また、市内図書館3
館では男女共同参画に関
する本の特集コーナーを
設置しました。



推進委員会の皆さん

市公式キャラクターが 地域交通安全サポーターに

昨年に比べ、石川県内で増加している交通死亡事故
や、特殊詐欺などの犯罪を抑止するため、市公式キャ
ラクター「ひぼ能ん」「ゆず美ん」「ぼぼ能ん」が能美
警察署の「地域交通安全サポーター」に就任しました。
6月11日に行われた委嘱式では、石川県警察のマス
コット「いぬわし君」「いぬわしちゃん」から、「安全
で安心して暮らせる能美市のために一緒に頑張りたい
よう」とメッセージと交通安全旗が贈られました。
サポーターの初仕事としてゆず美んの合図で、白バ
イやパトカー、広報宣伝車がパトロールに出発しまし
た。

今後は、ひぼ能ん、ゆず美ん、ぼぼ能んも能美警察
署や関係団体に協力し、交通安全や防犯の呼びかけ活
動に参加していきます。



今後は交通安全や防犯の活動に参加します



キャラクター・マスコットたちが見送りました

市道岩内金剛寺線開通式開催

市道岩内金剛寺線は、岩内町と金剛寺町とを結ぶ市道で、平成27年度に延長420mの道路改良事業に着手しました。道路幅の狭い区間や急勾配区間を整備したことで、安全面と利用しやすさが向上し、沿線の岩内工業団地へのアクセスが向上しました。

6月2日、開通式が金剛寺町地内で行われました。石川県や警察、地元関係者など約30人が出席し、幹線道路の開通を祝いました。



テープカットでお祝いました



(主) 小松辰口線から (主) 金沢小松線への幹線道路ネットワークが強化されました

小中学校の安全安心のためにご寄附
株式会社金沢村田製作所に感謝状

株式会社金沢村田製作所から能美市立小中学校へ、マスク1万枚とフェイスシールド200枚のご寄附をいただきました。

6月9日、江本茂人管理部長らが市役所を訪れ、寄附の受納と感謝状の贈呈を行いました。江本管理部長は「感染症の第2、第3波に備えて、学校関係に活用してほしい」と話し、井出市長は「再開した学校の安全・安心確保のために活用させていただきます」とお礼を述べました。



江本管理部長 (左) から目録を受け取る井出市長 (右)

地域経済の活性化のためにご寄附
株式会社日本パーツセンターに感謝状

株式会社日本パーツセンターから能美市へ、100万円のご寄附をいただきました。

6月4日、中田誠一郎社長らが市役所を訪れ、寄附金の受納と感謝状の贈呈を行いました。中田社長は「新型コロナウイルスの影響を受けた市民や事業所のために役立ててほしい」と話され、井出市長は「影響を受けた事業所などを元気づけるために大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



左から中田社長、井出市長

クアハウス九谷に九谷焼作品を展示
木原行成さんに感謝状

九谷焼作家で伝統工芸士の木原行成さんには、昭和63年のクアハウス九谷開業当時から30年余り、施設内にご自身の作品を展示していただきました。

5月26日、井出市長が木原さんの自宅を訪れ「長年にわたり、クアハウス九谷に来られる市民の皆様に作品を鑑賞して楽しんでいただけた」とお礼を述べ感謝状の贈呈を行いました。



左から木原さん、井出市長

山田義明さんに瑞宝単光章

九谷焼製造業に従事し、伝統工芸の継承と地域振興に貢献された山田義明さん(泉台町)が瑞宝単光章を受章しました。

そのことを受けて、5月27日、山田さんが市役所を訪れ、井出市長に受章の報告やこれまでの経験を話されました。山田さんは「一つのことを長く続けて来られたことは何事にも代えがたい。受章は推薦してくださった皆様のおかげです」と話しました。



左から山田さん、井出市長

感染拡大防止の一助としてご寄附
株式会社根上印刷所に感謝状

株式会社根上印刷所から能美市へ、フェイスガード2000枚と、印刷物を床や壁などに吸着できる印刷用シート2000枚のご寄附をいただきました。

6月11日、佐田隆成代表取締役が市役所を訪れ、寄附の受納と感謝状の贈呈を行いました。井出市長は「学校などの施設で感染対策を呼び掛ける際に、掲示物は欠かせない。大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



佐田社長 (左) からフェイスガード、吸着シートを受け取る井出市長

感染症対策などにたくさんのご寄附をいただきました

- ご厚志ありがとうございます
- (4月20日～6月11日受付分、寄附受付日順)
- 株式会社シモムラ様 (小松市)
 - 焼肉たかちゃん様 (倉重町)
 - 株式会社山岸様 (福井県)
 - ハウメット・ジャパン株式会社様 (粟生町)
 - 長野ポンプ株式会社様 (金沢市)
 - 西原物産株式会社様 (野々市市)
 - 小松基地北部民防協会様 (大成町)
 - 株式会社中東様 (岩内町)
 - 株式会社タガミ・イーエクス様 (粟生町)
 - 有限会社ナカセ様 (三道山町)
 - 株式会社吉光組能美営業所様 (粟生町)
 - 能美市管工事協同組合様 (大成町)
 - 辰口地区婦人会様
 - 株式会社ヤングドライ様 (富山県)
 - 小松能美建設業協会様 (小松市)
 - 能美市緑化協会様
 - 株式会社山本組様 (福岡町)
 - 森田早苗様 (東京都)
 - アートファクトリー株式会社様 (小松市)
 - 株式会社キャライノベイト様 (東京都)
 - 株式会社日本パーツセンター様 (金沢市)
 - 株式会社金沢村田製作所様 (白山市)
 - 株式会社根上印刷所 (大成町)
 - 匿名 1件

水道週間の取り組み

6月6日、水道週間（6月1日から6月7日まで）に合わせ、水道の漏水対応などを手がける能美市管工事協同組合員と市上下水道課の職員（総勢30人）が水源など市内6箇所の水道施設で除草作業を実施しました。

共に汗をかくことで連携を深め、引き続き水道の安定供給に努めていきます。



和佐谷浄水場で除草作業を行う組合員と職員

水道は限りある大切な資源です。節水にご協力をお願いします。

大雨シーズンを前に 避難所運営シミュレーションを実施

いつもの避難所 + 感染防止対策

市では、6月10日、辰口福祉会館交流ホールを中心に、避難所を開設する機会が多い大雨シーズンを前に、新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭において避難所運営体制のシミュレーションを行いました。

今回、職員と同会館を指定避難所にする坪野町の市民計50人がシミュレーションに臨み、避難所入所時の検査体制、感染リスクを低減するための間仕切りや配置要領、衛生管理、運営スタッフの役割、要配慮者の対応要領など、職員と市民が協働で様々な事前対策や課題点を洗い出しました。



収容人数を制限した配置要領を確認する職員

入り口前で検温・問診

受付では避難者に発熱がないかを職員が体温計でチェック。健康状態も聞き取り、問題がなければホールを通し、発熱がある人は医療機関へ移ってもらう手順を確認しました。

避難所スペース

ホールでは、集団感染のリスクが高い三密（密閉・密集・密接）を防ぐため、避難者同士が2メートル以上の距離を空ける必要があり、収容人数を制限した配置要領などを検証しました。また、飛沫感染などの防止対策として職員や市民が段ボール製の間仕切りや段ボールベッドを組み立て、手順や寝心地などの確認をしました。



段ボールベッドを組み立てる市民

職員からは「実際に避難所を自分の目で見て、様々な問題が起きた時にどう対応すればいいのか、イメージが湧いた」「感染症予防のために所属する行動班の手順を再確認していきい」「災害が起きた時、市民が感染を恐れて避難をためらうことがないよう、受け入れ態勢を整えたい」といった声や、参加した市民は「梅雨に入っている災害が起きるから分からないので、市の職員と一緒にできたことは、とてもよい勉強になりました」と話しました。



避難所入所時入り口前での検温・問診を体験



自分で組み立てた段ボールベッドの寝心地を確認しました

「あいさつ運動」小中学校再開 児童生徒の登校見守る

能美市では、毎月15日をふれあいあいさつデーとし、学校・保育園の先生やPTA、各町会・町内会や自治公民館の役員、民生委員などが校門や通学路に立ち、児童生徒たちへ朝の声かけを行っています。

6月1日には、通常授業の再開に合わせて市内小中学校11校で朝のあいさつ運動を行い、休校明けの市内各所で子どもたち



左から高島署長、生徒ら、木下校長、井出市長

ちの元気な声が響きました。根上中学校では、高島茂生能美警察署長や井出市長が木下浩明校長らと一緒に玄関前に立ってあいさつをし、久々の通常授業に向け歩みを進める生徒たちを元気づけるよう声をかけながら登校を見守りました。

あいさつデーは今年15日にも行われます。朝、登校する子どもたちと挨拶を交わしましょう。



教育長に元気なあいさつをする生徒

婚姻届・出生届を提出された方に 記念品をプレゼントしています

「Nom i 15婚姻・出生アニバーサリー事業」の第2弾として、能美市にお住まいの方で、能美市に婚姻届・出生届を提出された方へ、お祝いとして、ひば能ん・ゆず美人・ぼぼ能んのイラストが入った「車用マグネットステッカー」と「クリアファイル」をプレゼントしています。

オリジナル婚姻届・出生届（提出用・記念用）

も配布しており、市ホームページからもダウンロードが可能です。また、記念用に押すことができる「記念スタンプ」を市民窓口課、寺井・根上窓口センターにご用意したほか、「記念撮影用バックボード」を市役所本庁舎に設置しました。ぜひご利用ください。



オリジナル婚姻届・出生届（提出用）

車用マグネットステッカー

クリアファイル

7月は「社会を明るくする運動」の 強調月間・再犯防止啓発月間です

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止

と、罪を犯した人たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとす

る全国的な運動です。毎年7月を強調月間として、啓発活動などさまざまな取り組みを行っています。